

令和2年度 山形県行政支出点検・行政改革推進委員会 第4回会議 意見概要

◇ 日 時 令和2年11月20日（金） 10：00～11：15

◇ 会 場 県庁16階 1601会議室

◇ 出席委員

委員長 砂田洋志

委 員 石原敏之、尾形律子、小口裕之、小関健太郎、中鉢美佳、
樋口恵佳、山口良子

〈五十音順、敬称略〉

◆委員の主な意見等

議事（1）「事務事業評価（事業レベルのPDCA）」について

○山形ウーマノミクス加速化プロジェクト事業費について

（尾形律子委員）

事業目標は効果を求めるためのもの。事業の進捗状況に応じて軌道修正するなど、年度内に事業の進め方を見直しするべきであった。

（小口裕之委員）

男性の育児休暇など、制度はあっても取得できない状況がある。男性は育児休暇を取れないなどの無意識の偏見が存在している。なぜ取組みが進まないか、根本の問題を解決し、企業も行政も意識を変えられるよう、研修会を開催するなどの取組みを進めてほしい。

（中鉢美佳委員）

活動実績、成果実績が伸び悩んだようだが、十分に活動されたと思う。これまでの取組みから次のステージに移る段階になったと考えれば、今回の事業の見直しは、妥当な方向性と考えられる。

（樋口恵佳委員）

ようやくノウハウの蓄積や課題などが見えてきたところだと思うので産業労働部に移管された後も、グレードダウンすることなく続けていただきたい。

（山口良子委員）

女性も一緒に社会を築いていくことが大切であるということを高校生の時から伝えていくことが重要ではないか。

○人材確保・生産性向上推進事業費について

（石原敏之委員）

ICT人材の確保についても支援していただきたい。

(小口裕之委員)

山形にどういった企業があって、どのような人材を求めている、どのような企業理念で経営しているかなどについて、まだまだ周知されていないので、高校生との交流会の開催を続けるべきではないか。

また、業務改善奨励金など、山形県の中小企業を支援する仕組みを継続していただきたい。

(小関健太郎委員)

成果指標を製造業の付加価値額に限定しているが、各産業別の生産性を見たうえで重点事業を決めるべきではないか。

また、人材確保と生産性向上は同一軸では起きないと考えられるので、人材確保と今後のAI、ICTの活用方針をしっかりと整理していくことが重要である。

(山口良子委員)

AIアドバイザーが必要なのは労働生産性が高い製造業ではなく、労働生産性が低い宿泊業、飲食業などのサービス業ではないか。

また、山形の企業や産業の魅力を発信する機会を設けることが大事だ。Youtubeなどで山形に帰ってきたい、山形で自分の技術を発揮したいと思えるような情報を発信すべきではないか。

○河川流下能力向上緊急対策事業費について

(小関健太郎委員)

水害等で被災した場合、地域によっては建物の再建が建築基準法上不可能な地域もあるので、保護の観点も踏まえて対策を進めてほしい。

ま と め

(砂田洋志委員長)

各事業について、様々な意見があった。本日の意見を参考にしながら、進めていただきたい。